



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第225号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

〔参加して真に生き甲斐の持てるクラブ〕

2014～15年度テーマ ～先人の知恵を受け継ぎ、自分を出し切ることに徹しよう～

定期総会・例会

日 時：平成 26 年 7 月 10 日（木）12：30～15：30

場 所：八王子エルシイ

出席者：66 名、出席率 94.3%

（会員総数 70 名 欠席 4 名）

会食とハッピーコイン披露



田中美代子新例会委員長の「いただきます」の合図で会食を始め、会食中に永井昌平新副会長からハッピーコイン（後掲）の披露があった。

続いて本日の配布資料の確認を行った。

第 18 回定期総会

1. 司会 田中（美）委員長

只今より第 18 回定期総会を開催します。

2. 議長選任

恒例により会長が議長を務めることとなり、土井俊玄新会長が議長として着席し総会が有効に成立したことを宣言した。（定足数規定なし）

3. 書記 1 名、議事録署名人 2 名選任

恒例により議長が指名した。

書記 高取和郎会員

議事録署名人 阿部治子会員、戸田弘文会員

4. 議事（議案一部省略記載 詳細は配布資料及び議事録参照）

第 1 号議案 平成 25 年度事業報告の件

第 2 号議案 平成 25 年度一般会計決算報告の件

第 3 号議案 平成 25 年度活動準備資金特別会計決算報告の件

第 4 号議案 平成 25 年度生涯学習サロン会計決算報告の件

会計監査報告 山崎会計監査

（以上、提案理由説明は前年度各担当者）

質疑応答（1～4 迄 結論のみ、以下同じ）

①決算書の勘定科目は適正な字句を使用する事。

②八王子南ロータリークラブからの援助金 5 万円が 3 万円になったが、理由はとにかく当クラブもお陰様で一人前になったので、以後は全額辞退することかどうか。

③定期総会の回数表示は、通し番が一般団体（法人、町内会、自治会等）の通例であり、歴史であるから当会も通し番（1～18）を守るべきである。一方臨時総会はその年度の回数表示でよい。なお、この種の議題は理事会審議でなく総会に諮るべきである。

採決（1～4 迄、質疑応答による一部修正含む）

賛成多数で可決承認。

第 5 号議案 平成 26 年度一般会計予算（案）の件

第 6 号議案 平成 26 年度活動準備資金特別会計予算（案）の件

（以上、提案理由説明は新担当者）

質疑応答（5～6）

第 6 号議案の銀行有高の掲載必要の可否について、必要ないとの意見が多数で次年度からは掲載しないこととなった。

第 7 号議案 創立 20 周年記念事業（案）・準備委員会（案）の件

（提案理由説明は杉山準備委員長・武田幹事）

質疑応答

資料 1 の 2：八王子「宇宙の学校」キャンペーン説明で、「宇宙写真パネル展」をオリンパスホールと市の出張所に展示するならば、八王子駅構内連絡通路にも展示したらどうかとの提案について、

素晴らしい提案だが、展示物は国の貴重な財産なので、汚損、盗難等の事故を考慮すれば警備費用等の問題もあり、実施は困難である。

採決（5～7）

賛成多数で原案どおり可決承認。

議長

以上で7議案すべて審議が終了致しました。

議案の（案）を消して下さい。長時間のご審議有難うございました。ご協力感谢您いたします。

5. 議長退任

6. 閉会（田中委員長）

第18回定期総会を閉会とします。

7. お客様のご紹介とご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ

会長 長谷部良幸様 幹事 大貫雅之様

長谷部会長ご挨拶



年度初めの表敬訪問の一つとして八王子プロバスクラブの定期総会に伺いました。私はロータリークラブに入会してから、

かれこれ17、8年経ちますが、入会して間もない頃こちらの杉山さんから、中町へ飲み連れて行かれて、その時「おい、10年や15年経つのはわけないぞ」と言われた事が印象に残ってまして、そうこうしているうちにあらうことか会長になってしまいました。未熟者ですがよろしくお願いいたします。

話は変わりますが、東京五輪の頃、当プロバスクラブ第3代会長の野口正久先生のご指導で、私の家の蔵の中の古文書を見て頂いたことがあります。私は処分してもいいものと考えていたのですが、野口先生は「商業関係の歴史の資料として残すべきもの」と判断されました。

一昨年、市の市史編纂担当の職員の方々が、軽自動車数台分の資料を運び出され、市史の空白の部分埋める資料として役立ったと聞きました。私はこのことで、つくづく「地元のご縁」を感じました。

これからも「人のご縁」として、両クラブのご縁をよろしくお願いいたします。簡単ですがご挨拶いたします。有難うございました。

第225回例会

1. 司会（田中例会委員長）

只今より第225回例会を開催します。

2. 挨拶 土井俊玄会長

皆さんこんにちは。東京八王子プロバスクラブの



新年度の発足に当り、今年度（2014～15年度）の運営方針についてお話し致します。

運営方針を立てるについての私の基本的立場を述べますと、私は歴代会長の運営の理念の全て、それによって積み上げられた、実質的な成長・実績をしっかりと踏まえ、それを全て土台として取り入れ、その上にまた一段と発展させていきたいという考えの上に立っています。

基本方針として「参加して、真に生甲斐の持てるクラブ」を掲げましたが、余り難しく考えずに、とにかく例会に出、各種の行事に参加することが楽しみであると思えるようになればよいと思うのです。

楽しくクラブライフができるということは、その根底に一人一人のクラブ員が、完全に平等に認められるという条件が調えられなければならないことは言うまでもありません。

較べない、差別をしない、ありのままの自分を出し切れる。そして、そこで表現された個々人の特性を完全に認め合い、評価し、尊重する。そういうクラブであります。更に高めていければと強く望んでおります。

会員の皆様、よろしく御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

3. バースデーカード贈呈

今月もおなじみの池田会員お手製のバースデーカ



ードが会長より浅川、岩島、澤渡、高取、濱野の各会員に手渡されました。おめでとうございます。

4. 幹事報告 武田洋一郎新幹事



初めての幹事報告。
よろしく。

第1回目の理事会報告は次の通り。

- ①会長今年度運営方針
- ②各委員会運営方針
- ③八王子「宇宙の学

校」方針

④八王子市の新体育館見学の件

その他の検討課題として、当会場エルシィが耐震工事を施工する予定があり、年内は3階についてはないが、来年は4階の工事となり、当クラブに若干影響がある。これについては工事の進捗状況をみながら、店側と打ち合わせをしていく。

また、7月2日南ロータリークラブに会長と表敬訪問をした。

5. 委員会活動方針発表

(1) 地域奉仕委員会 寺田昌幸新委員長



本年度の地域奉仕委員長を仰せつかった寺田です。地域奉仕委員会の活動方針は、お手元に配布されたとおりでポイントは三つ。

一つ目は、今まで学習サロンは3回にわたって各回4テーマで行われるので、聴講したいテーマが重なって聴講できない。或いはもう一度聞きたいという声に答えるため、アンケートを実施していく。

二つ目はサロンらしく話し手と聴講者との対話が出来るように、話す時間を少し短くする。

三つ目は長年の参加者に加えて皆様方の協力を頂き、新参加者を増やしたい。

地域奉仕委員会のメイン業務は「学習サロン」の実施だが、会員皆様のご協力がなければ成り立たないので、ご協力の程よろしくお願いしたい。

一つ目でふれたアンケート用紙がお手元に配布されている。(お願いと別紙①と②) このアンケートを本日又は8月例会日迄に地域奉仕委員にお渡し願いたい。

(2) 例会委員会 田中委員長

例会委員会は、今年度の会長方針をふまえて、会員の皆様にご満足頂ける例会にするために

- 1) 受付・配席・資料配布・集金等の分担を決め、各委員が役割を確実に実行する。
- 2) 小さな幸せをみんなで喜び、大きくしてあげるハッピーコインの啓蒙。
- 3) 会場の配席を工夫し、交流が深まるようにする。
(委員会単位・自由席・混合席等)
- 4) 今日の例会「楽しかったね」「来月も又会いましょう」と言われるようなクラブの運営に努めたい。
- 5) 「会話がはずんだ」「よい話が聞けた」等、和気藹々とした雰囲気が出せるような実りあるクラブにしていきたい。

以上の活動計画を基に、委員一同1年間頑張るので、ご協力よろしくお願いしたい。

(3) 情報委員会 河合和郎新委員長



会長の示した全体テーマの方向性に基づき情報委員会として次の活動方針を決定する。

- 1) 基本的には情報委員会の所管事業を継承し、発展させる。
 - 2) 定期刊行誌「プロバスだより」の編集と発行。
 - ①定例記事の簡素化
 - ②会員情報の充実
- 会員の投稿を積極的に図ると共に会員活動状況の報告を充実させる。
- ③編集技能の習得、編集体制の充実
- 委員会メンバーの相互研修、外部研修を行い、編集体制の充実を図る。
- 3) ホームページの情報の更新と内容の充実を図り、データ管理を的確に行う。
 - ①専門業者へ管理を委託し、業務内容の充実を図る。
 - ②ホームページの情報内容を充実させる。
 - ③プロバスクラブが保有している情報データの整理と情報の確実なバックアップについて、専門業者との協議を進める。
 - 4) 「学習サロン」の事業記録の集約、抄録発行を

集中的、効率的に進める。

(4) 会員委員会 岡本宝蔵新委員長



当クラブ運営上適切な会員人数は 70 名台と考える。発展的存続の為に新会員の増強を委員会として、又会員皆様のご協力を頂き、意欲を持って目標達成に努力する。

1) 今年度の期末会員数を 73 名以上にするため、新会員の獲得を図る。

2) 現在女性会員の比率は 21%。女性会員数の比率向上に努力する。

3) 会員の高齢化に伴ない、当会の平均年齢以下の新会員の入会や、60 歳台の人材確保を目指す。

4) 生涯学習サロンの一般会員の受付集金等においては、「オモテナシ」の心を持って対応する。

5) 新入会員の「声掛けキッカケ運動」を例会委員会と共に推進し、会員相互の交流を図る。

6) 会員委員会に属するデータの管理及び資料の整備を図る。

(5) 研修委員会 石田文彦新委員長



従来の研修委員会の事業を継承し発展させる。

1) 野外研修の実施

多くの会員が参加できる、日帰りでゆとりある行程の野外研修を企画する。

目的地・内容等については 9 月の例会で案内し、11 月例会日に実施する。

2) 卓話の運営

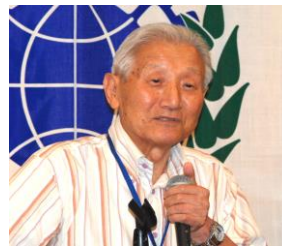
卓話の人選では、卓話の経験がない人に優先的にお願いする。卓話においては、できるだけ質疑の時間を設ける等、会員の交流の場となるように配慮する。

3) 出前事業

出前講師の派遣については、近隣クラブとの交流、派遣対象団体等の発掘に努力する。

(6) 交流担当 浅川理事

近隣クラブとの交流はこの 2 年間進展し、良好に推移している。今後はプロバスクラブを全国に広めたい。その為には現在在るクラブの所在を知りたい。



その情報を頂けるのが全日本プロバスクラブ協議会であり、その存在を皆さんに知ってもらうため、「全日本プロバス協議会情報」を当プロバスだよりにより毎号掲載

することになった。また 11 月に全日協の 2 年に 1 度の定期総会が横浜で開催される。近場なので大勢のご参加を願いたい。詳細は立川会員より説明。

(7) 交流担当 立川会員

(全日本プロバス協議会会長代行)



只今、浅川理事からお話があり、この全国総会は色々な地方から会員が集まり、楽しい輪が出来るので一人でも多く参加して頂きたい。詳細は判り次第発表

する予定。

もう 1 点、待望の八王子市新体育館が完成間近。新名称の（エスフォルタ・アリーナ）のエスフォルタは今後 10 年間の管理を受注した会社の名前から命名。あと 2 ヶ月で完成見込み。当クラブとして内覧会をお願いし、配布した案内の通り 9 月 18 日に実施するので、ご希望の方は申し込んで頂きたい。

(8) 八王子「宇宙の学校」PJ 下山リーダー



八王子「宇宙の学校」は今年も参加人員がかなり増加し、募集人員を大幅に上回っている。この状況を如何に乗り切るかを考えている。また、その為には資金面でのご協力をお願いしたい。詳細は配布資料を参考にして頂きたい。

お願いしたい。詳細は配布資料を参考にして頂きたい。

澤渡専任メンバー

八王子「宇宙の学校」支援の会（代表 土井会長）について（詳細配布資料の通り）、今年もより一層の財政支援を願いたい。（申込み、できれば 8/14迄）

八王子「宇宙の学校スクーリング」報告

情報担当 有泉会員

今年度の宇宙の学校は、本部（教育センター）、東京工科大学、都立八王子北高校の 3 会場で行われましたが、開校に先立ち、7 月 2 日（水）東京工科



大学で、宇宙の学校ボランティアを務める学生を対象にKU—MA遠藤純夫先生による特別講話がありました。最初のスクーリングは、7月6日（日）東京工科大学でおこなわれ、親子97組が参加しました。

開校式で坂倉仁教育長、東京工科大学斉木博応用生物学部長の挨拶、KU—MA会長平林久先生の特別講話の後、スクーリングに入りました。テーマは各会場とも同じで「風見鶏を作ろう」と「かさ袋ロケットをとばそう」でした。運営は東京工科大学生を主体に行われました。（現場撮影 吉田サブリーダー）

東京工科大学会場（1）



北高校の第1日は7月12日（土）27組の親子が参加し、坂倉仁教育長、石井哲也八王子北高校副校長の挨拶で開校式を終え、スクーリングに入りました。運営は都立北高校の生物科学部の生徒が昨年の経験を活かしスムーズに取り運びました。

教育センター会場



本部会場の宇宙の学校第1日は7月13日（日）親子65組が参加し教育センターで開催されました。下田泰造会員の司会、坂倉仁教育長の挨拶、開校宣言に続き、JAXA 佐々木薫

さんの宇宙に関連した講話で開校式を終え、各テーマに取り組みました。最初のテーマの「風見鶏を作ろう」では、野口浩平会員が、本物の風見鶏（マッコウクジラ）を自宅から持参、参加者を大いに喜ば

せてくれました。

「かさ袋ロケットを飛ばそう」では、最後にKU—MA山下法昭先生が尾翼に工夫をして、ロケットが安定して回転しながらまっすぐ飛ぶのを実演され、参加者から驚きの声が上がりました。

東京工科大学会場（2）



なお各会場の第2日目のスクーリングは夏休み明けの9月に行われます。

6. 同好会活動報告

カラオケ 杉山会員

カラオケ同好会は金持ちです。期末で22,500円の繰越を確保（配布会計報告参照）した。次年度から幹事を宮城会員にバトンタッチする。

宮城会員

7月31日に第6回カラオケ同好会を開催（配布案内の通り）。奮って参加して素晴らしい声を聞かせて頂きたい。

7. その他 広瀬会員

今年も第29回平和展が東急スクエアビルで7月31～8月4日まで開催される（配布資料参考）。

また、来年は八王子空襲70年となるので、八王子市は中央大学と連携して準備を始めている。資料裏面の8/1の被爆体験は貴重なお話なので、併せて多数の皆さんの参加をお願いする次第。

8. プロバスソング斉唱



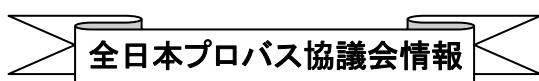
9. 閉会の挨拶 永井昌平新副会長



本日は長い時間ご苦労様でした。定期総会におきましては、有益ないいお話をいただきました。例会につきましても、各委員会の委員長さんから大変な方針を述べていただきました。こ

うした意見の交換や方針等が続くようなら、新年度は独立していけると思いますので、1年間頑張っ

てやっていきましょう。



全日本プロバス協議会報告(2)

会長代行 立川 富美代

日本のプロバスケットボールの歴史

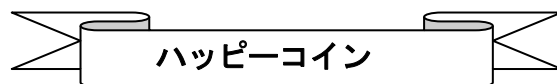
1988年ですから26年前に兵庫県上郡市に第1号の設立以来26年間に110クラブが日本中に誕生しています。関西に初誕生しましたので、関西は多く3分の2、70のクラブ数、関東は33クラブです。関西はブロック交流会も活発ですが、最近

は関東でも毎年近隣クラブの交流を続けています。下記は全国のクラブ分布数です。

鹿児島	17	宮崎	10	長崎	1	福岡	5
山口	1	広島	2	兵庫	24	大阪	3
京都	1	三重	5	奈良	1	和歌山	3
岐阜	1	新潟	4	石川	1	東京	5
神奈川	5	埼玉	2	千葉	1	群馬	6
青森	2	北海道	3				

まだまだ全県どころか四国には一つも出来ておりません。淡路島、奈良が昨年今年と続けて設立されました。しかし、折角活動を始めたクラブが活動停止や廃クラブになったのも17クラブもあります。会員高齢化や会員の減少です。一桁の会員数のクラブもあり、5クラブが一緒に活動している地域もあります。各県、各市に少なくとも1クラブは出来て欲しいものです。高齢者社会のニーズに見合った地域社会に認知されたクラブの増加は大きな期待です。

(次号へ)



◆広がれ、まわれ、プロバス新年度明るく楽しくそして元気に。 杉山 友一

◆3年間のプロバスだよりの原稿募集係を務めさせて頂き、皆様の絶大なるご協力を得まして取り敢えず任を終えました。大変有難うございました。

東山 榮

◆又一年プロバスライフを楽しませていただきます。

浅川 文夫

◆7月7日79才の誕生日を迎えた。沢山の人々にお世話になりました。この調子でゆけば来年はもっと良くなると念じています。

濱野 幸雄

◆七夕の日に75才の誕生日をむかえました。後期高齢という変な境界線に踏み込んでかなり複雑な気分です。これからも引続きおつきあいの程お願いいたします。

澤渡 進

◆今日は70才台最後の誕生日です。何時もバースデーカードを有難うございます。これからも今まで通りのんびりと過ごして行こうと思います。

高取 和郎

◆19期年度、本年もどうぞよろしくお願い致します。

山口 三郎

◆創立20周年準備室は第2回会合(6月28日)で任務を終了。会費残金600円をハッピーコインに納めます。

馬場 征彦

◆7月4日に生まれたお陰でアメリカ合衆国では国を挙げて(私のために?)お祝いをしてくれました。有難いことです。健康に恵まれて誕生日を迎える事が出来て感謝です。

岩島 寛

◆今期幹事を務めます。よろしくお願い致します。

武田洋一郎

◆先日映画「私の男」観賞。5日後モスクワ映画祭でグランプリ授賞。観客マバラだったのがいまは満員とのこと。

野口 浩平

◆新たに14.8キロ開通。東名・中央・関越が接続する。それにより首都圏全域の機能改善につながる。パッピーである。

荻島 靖久

◆土井丸の出発をお祝いして。 戸田 弘文

◆ようやく一年間のお役目が終わりました。ご協力を感謝しつつ。 田中 信昭

◆今般、会員委員長を仰せつかりました岡本宝蔵です。皆様のこのクラブの安定的な会員体制を維持するためにも、皆様の人脈により、新会員の御推薦をよろしくお願い致しますと共に、未熟者ですが会員皆様の御指導御鞭撻をお願い申し上げます。

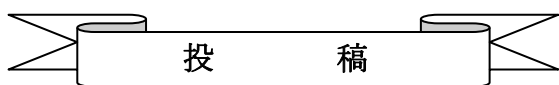
岡本 宝蔵

◆先月、アメリカから一時帰国した娘と孫息子に会えました。嬉しいです。

土井 俊玄

◆先月、白内障の手術をした結果、両眼とも0.3が1.2まで回復しました。世の中が明るくなりました。

鈴木 弘昭



八月に思うこと



渋谷 文雄

8月、敗戦からこの夏で69年。当時私は旧満州国に在学中の一学徒であった。関東軍の主力は南方に移動し、動員された召集兵は高齢者が中心、武器も満足に無く、火炎瓶で

戦車体当たりの訓練が中心であった。

ソ連軍は9日未明、戦車集団を先頭に国境を越え、瞬間に満州全域を支配、関東軍は降伏、学徒兵や補充兵も武装解除。全ての街がソ連兵による強盗・略奪・暴行・強姦の街と化してしまった。

街の治安は乱れに乱れ、傍若無人のソ連兵の乱暴狼藉は目に余り、白昼、買い物に出た婦人が自動小銃を抱えたソ連兵に捕まり、裏の空き地で強姦されるのを目の当たりにしても、自動小銃をぶっ放すので助ける事もできない状態となった。

しかも引き続き南進して来る後続部隊が入れ替わりに、日本人居住区を襲い、貴金属はもとより厳寒の冬を前に防寒衣類をも略奪しはじめ、婦女子は髪を切り男装して屋根裏などに隠れた。

やがて降伏した15日には、中国人達も軒並みに青天白日旗を掲げ、農民達はかつて日本人に土地を奪われた開拓団の人達を襲い、略奪・暴行をひんぴんと繰り返す様になっていった。

とりわけ満州奥地の人達は、男性が根こそぎ徴兵

され、老人と子供を抱えて避難する婦人たちは、暴民に襲われ、集団自決したり、子供を中国人に奪われ、丸裸同然の環境に放り出されたが、関東軍幹部達の大半はこの様な状況を一顧だにせず、家族と共に先に日本に脱出逃亡してしまった。

私は避難民に紛れ込み、昼は山中に隠れ、夜半移動する逃避行を重ねて日本を目指したが、鮮満国境はすでに閉鎖されてソ連兵に捕まり、日本が投資した各種の設備機械から発電設備などを解体し、戦利品として貨車に積み込む使役として酷使された。ソ連兵は最後に、鉄道のレールまで外し貨車に積み込み持ち去った。

翌年、ソ連軍が撤収をはじめ、私達は八路軍（後の解放軍）に引き継がれて国民党軍（蒋介石の軍隊）との内戦に巻き込まれた。弾丸の飛び交う前線の傷病兵の搬送や死亡兵士の埋葬、傷病兵の炊飯から、雪山の中で大木を伐り出し燃料を作るなど、各種の労役に従事することを余儀なくされた。

昭和28年、日中赤十字の交渉が纏まり漸く帰国は実現したが、私は満州の地で親や子供を殺し、自らも自殺した多くの罪なき難民や、親と離れて孤児となり未だに親もわからず年老いた人達、戦後の内戦に巻き込まれて戦死した学友達等々を思うだに、戦争は絶対許してはならないと誓っている。

来年は戦後生まれが70歳になる。この間、日本人の死亡原因に戦死・戦病死は一人もいない。戦争未亡人も死語となった。災害時に出勤し活躍してくれる自衛隊員も、他国の人を殺したり、殺されたりした人はいない。平和憲法が自衛隊をも守ってくれていると思う。

隣の韓国ではベトナム戦争に米軍の要請を受け、延べ30万人以上の兵士が参戦し、戦死者は4千6百人を超え、傷病兵は8千3百人以上と記録されている。安倍内閣は自ら進んで米国の要請を受け、憲法では許されない集団的自衛権導入を閣議決定し、関連法案の成立に躍起となっているが、私達は子供や孫達に戦争の原因を残してはならない責任があると思う。

日本が再び戦争に巻き込まれ、人を殺し、殺される。「そうってから平和の大切さを思っても遅い」のだから、断じて関連法案などの成立を許してはならない……と切に思っている。

駐留米軍基地のバイトで感じたこと

東 山 榮

今から半世紀以上前、小生が学生の頃のアルバイトの話である。当時進駐軍といわれた日本駐留米軍の基地の中に、レストランとバーのあるクラブと称するスペースがあった。クラブは将校、下士官、兵の三つに格付けされており、将校はどのクラブにも出入りできるが、他は上位のクラブには入ることは出来なかった。小生は将校クラブに勤め、そこで使う食材、飲料、消耗品等を調達管理する部門にいた。

大きな倉庫があって、クラブで使う食材等が多数保管され、一品毎にストックカードという物品の出入在庫を記録するカードが備えてあり、食堂やバーに必要な量の物品を供給する毎に数量を記録していた。

一方食堂やバーでは、コックやバーテンダー(何れも日本人)が毎日の食材等の使用量について、閉店後棚卸表(品目、単価記載)に仔細(肉、野菜、飲料他)に記録し、当日の消費原価が把握でき、売上高と比較して荒利益も計算できるようになっていた。

また、倉庫の在庫については一ヶ月に一度は必ず外部の将校(第三者)による監査があり、ストックカードと在庫の数量のチェックを入念に行っていた。

この辺の経営手法は軍隊とはいえ、日本の類似の企業経営においては大いに見習うべき点であった。

それに、クラブ関係の軍人はコーヒ一杯でもタダで飲むことは出来ないというように、公私の区別がはっきりしていたことも、心すべき点であった。

レストランの利用は夕食時が多く、大方はステーキ類にスープ、サラダ、コーヒが定番であった。そして週末にはナイトショウが催されていた。

バーではビールは米国産が多く、ウイスキーはカナダ産かバーボンが飲まれていた。カクテルは少数派だった。料金は一杯ごとに前払いであった。

これ迄の話は米国社会のほんの一段面であるが、何れにしても日常生活の豊かさ堅実さは、当時の日本人の生活実態と比べまさに雲泥の相違があり、これでは戦争に勝てる筈はないと実感した次第である。

俳句同好会便り

河合 和郎

私の一句～7月の句会から

日本列島は四季の変化が鮮やかである。俳句はそんな四季の移ろいを17文字に写し取る文芸。メン

バーの皆さんはその骨法を会得され、句作りを楽しむ毎日。今月の力作をご鑑賞あれ。

木下闇命ささげし白虎の碑

飯田富美子

会津戦争の白虎隊の悲劇を詠む。旅先の見聞を句にまとめるのも楽しみの一つとなった。

温暖禍列島襲ふど台風

東山 榮

最近の異常気象の「異常さ」を「ど台風」と決めた。説得力のある表現で秀句。

紫陽花の藍に染まりて水を遣る

吉田 信夫

日常の所作の中に句材を見つける楽しさを味わっている作者。これからをもっと楽しく。

梅雨寒や馬齢重ねて葉増ゆ

馬場 征彦

現実的で身につまされる話。梅雨寒の季語が効いている。これからも俳句で健康的な毎日を。

旅の宿鮎の塩焼き瀬戸の皿

渋谷 文雄

旨さが見えるよう。鮎と瀬戸の皿が涼しげでぴたり。優雅な旅の一夜の贅を一句に。

老鶯の澄みし一声涼を呼ぶ

山形 忠顯

今、里山では鶯の澄んだ声がしきり。きれいな一句を生んだ八王子の自然を大事にしたい。

草清水喉を潤し鎌洗ふ

石田 文彦

一仕事終わって清水で喉を潤す。昔はごく普通の光景。懐かしい昔に心を馳せた一句。

描くほどに反り返りつつ百合開く

池田ときえ

写生している間にも百合の花が開いてゆく。時間経過を詠う。絵心を一句にまとめた秀句。

迎え火や炎ゆれをり新仏

立川富美代

新仏の姿が目浮かぶような迫力がある。盂蘭盆会に親しき人を偲ぶ祈りの一句。

浜日傘影を追いつつ椅子ずらす

田中 信昭

日陰を追って椅子をずらす。改めて句にすると納得してしまう不思議。だから俳句は面白い。

くろがねの風鈴父の音がして

河合 和郎

何となく父親の厳格なイメージと鉄風鈴の鳴る風情が重なるような気がして一句に。

編集後記

てっ！ 新年度初っ端の編集で、こぴっと緊張しました。とにかく関係諸氏のご協力によりまして、なんとか格好がつけました。

有難うございました。 東 山 榮